# 平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日


上場会社名　日精エー・エス・ビー機械株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6284　URL　http://www.nisseiasb.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 青木　高太
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長　(氏名) 入江　智重　TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年9月期第1四半期 | 3,644 | △23.2 | 373 | △56.3 | 281 | △60.2 | 159 | △63.5 |
| 23年9月期第1四半期 | 4,746 | 17.0 | 853 | 60.6 | 706 | 18.5 | 435 | 6.3 |

(注)包括利益　24年9月期第1四半期　63百万円　(△79.9%)　23年9月期第1四半期　315百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年9月期第1四半期 | 10.59 | ― |
| 23年9月期第1四半期 | 29.00 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年9月期第1四半期 | 19,397 | 9,873 | 50.9 |
| 23年9月期 | 19,702 | 10,110 | 51.3 |

(参考) 自己資本　24年9月期第1四半期　9,873百万円　23年9月期　10,110百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年9月期 | ― | 0.00 | ― | 20.00 | 20.00 |
| 24年9月期 | ― | | | | |
| 24年9月期(予想) | | 0.00 | ― | 20.00 | 20.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 8,800 | △5.7 | 1,200 | △22.5 | 920 | △33.5 | 550 | △34.7 | 36.62 |
| 通期 | 17,800 | 2.2 | 2,550 | 1.6 | 2,050 | 7.7 | 1,230 | 17.9 | 81.91 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年9月期1Q | 15,348,720 株 | 23年9月期 | 15,348,720 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年9月期1Q | 331,596 株 | 23年9月期 | 331,596 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年9月期1Q | 15,017,124 株 | 23年9月期1Q | 15,017,339 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本書(平成24年9月期第1四半期決算短信)は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本書開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本書に記載した業績予想数値等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）重要な後発事象 …… 10
４．補足情報 …… 11
受注及び販売の状況 …… 11

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成23年10月１日～平成23年12月31日、以下、当第１四半期又は当期間）におきましては、歴史的な高値水準で定着化する円高、更に混迷する欧州の政治・経済情勢と他地域への波及、新興国での経済成長の鈍化など、経営環境は一段と厳しさを増す局面となりました。これに対し、当社では弾力的な価格政策の採用など需要喚起策を投入し販売促進に努めた結果、当期間の受注高は4,302百万円（前年同期比115.1%）と復調傾向となりました。一方、当期間の出荷高に相当する売上高では、想定していた出荷案件の遅延、円高による計上額の目減りなどの影響により、3,644百万円（同76.8%）と遺憾ながら大幅な減収となりました。しかしながら、前述のとおり当期間の受注状況は回復基調にあり、当期間末現在の受注残高は6,836百万円（同110.3%）と増加傾向にあることから、今後の売上高の挽回・復調を期しています。

製品別売上高状況

（単位：百万円）

| | ストレッチブロー成形機 | 金型 | 付属機器 | 部品その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当第１四半期 | 1,925 | 1,026 | 213 | 479 | 3,644 |
| 前第１四半期 | 2,664 | 1,347 | 235 | 497 | 4,746 |
| 対前年同期比 | 72.3% | 76.1% | 90.7% | 96.2% | 76.8% |

製品別の売上高状況は、前述のとおり厳しい販売環境により、特にストレッチブロー成形機・金型の出荷額に影響が表れました。具体的には、主力機ＡＳＢ－70ＤＰ型や小型機ＡＳＢ－50ＭＢ型などのＡＳＢシリーズ機、ＰＦ８－４Ｂ型などの1.5ステップタイプ機はいずれも減収で、この結果、ストレッチブロー成形機は1,925百万円（前年同期比72.3%）、金型は1,026百万円（同76.1%）となりました。付属機器及び部品その他は減収幅が相対的に小さく、それぞれ213百万円（同90.7%）、479百万円（同96.2%）となりました。

利益面では、インドルピー安効果を享受し製造原価の低減化に尽力したものの、売上ボリュームの減少により、売上総利益は1,530百万円（前年同期比72.6%）、営業利益は373百万円（同43.7%）と計上額は大きく減少いたしました。また、営業外損益では、円高の影響により為替差損を計上したことに加え、営業利益段階までの減益幅が大きく、経常利益は281百万円（同39.8%）と大幅減益を余儀なくされました。

最終損益では、全額出資の中国現地法人の清算手続において多額の特別損失（308百万円）を計上したことにより、四半期純利益は159百万円（同36.5%）と大幅減益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント(地域)別売上高状況

（単位：百万円）

| | 米州 | 欧州 | 南・西アジア | 東アジア | 日本 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 当第１四半期 | 910 | 318 | 1,488 | 317 | 609 | 3,644 |
| 前第１四半期 | 1,140 | 1,073 | 1,762 | 540 | 228 | 4,746 |
| 対前年同期比 | 79.9% | 29.6% | 84.5% | 58.7% | 266.3% | 76.8% |

① 米州

北米・中南米からなる米州地域は、中米市場で売上が増加した中で、北米市場の売上が前年同期の水準に達せず、地域全体の売上高は910百万円（前年同期比79.9%）と減収となり、セグメント利益は126百万円（同49.9%）となりました。

② 欧州

欧州の経済危機を背景に地域全体で市況が低迷し、売上高は318百万円（前年同期比29.6%）と大幅な減収となるとともに、セグメント利益も33百万円（同11.8%）と大幅減益を余儀なくされました。

③　南・西アジア

南・西アジア地域では中東市場で売上を伸ばしたものの、東南アジア市場などでの売上減により、地域全体の売上高は1,488百万円（前年同期比84.5%）、セグメント利益は333百万円（同80.1%）に留まりました。

④　東アジア

中国で売上減となった影響により、売上高は317百万円（前年同期比58.7%）と前年同期の実績を下回り、セグメント利益も20百万円（同37.7%）となりました。

⑤　日本

需要動向が好調な国内市場は大幅に出荷額を伸ばし、売上高は609百万円（前年同期比266.3%）と大幅増収となりましたが、販売費及び一般管理費の負担が増加し、セグメント利益は65百万円（前年同期：営業損失15百万円）に留まりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

〔資産、負債及び純資産の状況〕

当第１四半期連結会計期間末（以下、当期間末）の流動資産は、売上債権の減少等により、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ184百万円減少し、15,052百万円となりました。また、固定資産は、投資その他の資産の減少により、前期末と比べ121百万円減少し、4,344百万円となりました。この結果、当期間末の資産合計は、前期末と比べ305百万円減少し、19,397百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が減少したものの、短期借入金の大幅な増加により、前期末と比べ208百万円増加し、7,993百万円となりました。また、固定負債は、長期借入金の減少などにより、276百万円減少し、1,530百万円となりました。

純資産は、利益配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことなどから、前期末と比べ236百万円減少し、9,873百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループにおきましては、厳しい経営環境の継続が想定される中、インド工場で現在進めている第２工場棟の建設、生産設備の増設を推進し、生産コストの低減による競争力強化と生産体制の拡充を図り、収益構造の向上・経営基盤の堅牢化を目指します。また、未深耕市場の販売体制を整備し、受注・売上の確保に努めるとともに、次世代機の開発・商品化に注力してまいります。

このような中、「（１）連結経営成績に関する定性的情報」に記載したとおり、当第１四半期連結累計期間(以下、当期間)の売上高は大幅に減少したものの、受注高は前年同期を上回る水準となっております。また、当期間においては全額出資の中国現地法人の清算に伴い多額の特別損失を計上いたしましたが、第２四半期連結会計期間以降での同子会社の清算手続きにおいて固定資産等を売却する予定であり、この売却益の計上に伴い最終的な清算損益は軽微になると見込んでおります。

このため、連結経営成績は概ね予想の範囲内で推移すると見込んでおり、平成23年11月11日付「平成23年９月期決算短信」に記載した平成24年９月期の連結業績予想（平成23年10月１日～平成24年９月30日）は、そのまま据え置くこととし、現時点では修正を行わないことといたします。

なお、「平成23年９月期決算短信」に記載した平成24年９月期第２四半期累計期間（平成23年10月１日～平成24年３月31日）の個別業績予想について、業績予想の修正を行っております。修正理由につきましては、本日（平成24年２月13日）付「平成24年９月期第２四半期累計期間（個別）業績予想の修正及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

今後の情報収集により業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表する予定でおります。

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が、平成23年12月２日に公布されております。

これに伴い、平成24年４月１日以降開始連結会計年度を含む３連結会計年度において解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率は40.1％から37.5％に変動いたします。また、平成27年４月１日以降開始連結会計年度において解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率は37.5％から35.1％に変動いたします。

この法定実効税率の変動による影響は軽微であります。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年９月30日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,834,541 | 2,840,813 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,257,146 | 3,108,561 |
| 商品及び製品 | 899,874 | 943,027 |
| 仕掛品 | 4,315,912 | 4,360,674 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,878,827 | 2,791,558 |
| 繰延税金資産 | 544,052 | 586,676 |
| その他 | 584,084 | 518,608 |
| 貸倒引当金 | △77,171 | △96,981 |
| 流動資産合計 | 15,237,268 | 15,052,940 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,106,261 | 1,072,609 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 721,154 | 763,324 |
| 土地 | 836,231 | 836,231 |
| その他（純額） | 453,325 | 436,636 |
| 有形固定資産合計 | 3,116,973 | 3,108,802 |
| 無形固定資産 | 375,854 | 355,100 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 472,816 | 493,845 |
| その他 | 535,878 | 417,491 |
| 貸倒引当金 | △35,835 | △30,602 |
| 投資その他の資産合計 | 972,859 | 880,735 |
| 固定資産合計 | 4,465,687 | 4,344,638 |
| 資産合計 | 19,702,955 | 19,397,578 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年９月30日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,359,798 | 2,314,350 |
| 短期借入金 | 2,756,029 | 3,445,047 |
| 未払法人税等 | 479,860 | 46,961 |
| 前受金 | 1,205,350 | 1,225,437 |
| 賞与引当金 | 123,748 | 66,996 |
| 役員賞与引当金 | 39,000 | 8,749 |
| その他 | 821,314 | 885,944 |
| 流動負債合計 | 7,785,102 | 7,993,487 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 739,882 | 661,873 |
| 退職給付引当金 | 400,683 | 404,931 |
| 役員退職慰労引当金 | 203,235 | 177,910 |
| その他 | 463,523 | 285,837 |
| 固定負債合計 | 1,807,324 | 1,530,552 |
| 負債合計 | 9,592,426 | 9,524,039 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,860,905 | 3,860,905 |
| 資本剰余金 | 3,196,356 | 3,196,356 |
| 利益剰余金 | 5,177,391 | 5,036,137 |
| 自己株式 | △201,409 | △201,409 |
| 株主資本合計 | 12,033,243 | 11,891,989 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △38,664 | △27,705 |
| 為替換算調整勘定 | △1,884,049 | △1,990,744 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,922,713 | △2,018,449 |
| 純資産合計 | 10,110,529 | 9,873,539 |
| 負債純資産合計 | 19,702,955 | 19,397,578 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成22年10月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年10月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 4,746,114 | 3,644,953 |
| 売上原価 | 2,639,831 | 2,114,932 |
| 売上総利益 | 2,106,282 | 1,530,021 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,252,400 | 1,156,565 |
| 営業利益 | 853,882 | 373,455 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 15,828 | 14,153 |
| 受取配当金 | 3,343 | 3,396 |
| 受取手数料 | 1,861 | 51,649 |
| その他 | 11,730 | 5,000 |
| 営業外収益合計 | 32,764 | 74,199 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,232 | 13,342 |
| 為替差損 | 162,349 | 151,618 |
| その他 | 74 | 1,208 |
| 営業外費用合計 | 179,656 | 166,169 |
| 経常利益 | 706,989 | 281,485 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,606 | 397 |
| 特別利益合計 | 1,606 | 397 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 25 | 150 |
| 固定資産除却損 | 650 | 28,474 |
| 貸倒引当金繰入額 | － | 18,217 |
| たな卸資産評価損 | － | 205,070 |
| 特別退職金 | － | 56,605 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 17,759 | － |
| 特別損失合計 | 18,435 | 308,518 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△） | 690,160 | △26,635 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 172,538 | 66,931 |
| 法人税等調整額 | 82,087 | △252,656 |
| 法人税等合計 | 254,626 | △185,724 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 435,534 | 159,089 |
| 四半期純利益 | 435,534 | 159,089 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成22年10月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年10月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 435,534 | 159,089 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,717 | 10,958 |
| 為替換算調整勘定 | △138,744 | △106,694 |
| その他の包括利益合計 | △120,026 | △95,736 |
| 四半期包括利益 | 315,507 | 63,353 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 315,507 | 63,353 |

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

〔セグメント情報〕

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成22年10月１日　至平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 米州 | 欧州 | 南・西アジア | 東アジア | 日本 | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,140,312 | 1,073,720 | 1,762,505 | 540,655 | 228,920 | 4,746,114 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － | － |
| 計 | 1,140,312 | 1,073,720 | 1,762,505 | 540,655 | 228,920 | 4,746,114 |
| セグメント利益又は損失(△) | 252,451 | 281,628 | 416,628 | 53,581 | △15,199 | 989,090 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 989,090 |
| 全社費用 | △202,527 |
| その他の調整額 | 67,319 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 853,882 |

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成23年10月１日　至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 米州 | 欧州 | 南・西アジア | 東アジア | 日本 | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 910,987 | 318,109 | 1,488,858 | 317,494 | 609,503 | 3,644,953 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － | － |
| 計 | 910,987 | 318,109 | 1,488,858 | 317,494 | 609,503 | 3,644,953 |
| セグメント利益 | 126,033 | 33,365 | 333,923 | 20,177 | 65,054 | 578,554 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 578,554 |
| 全社費用 | △206,431 |
| その他の調整額 | 1,333 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 373,455 |

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結累計期間から、セグメント利益又は損失の算定に用いる費用の配賦方法について、報告セグメントの評価管理をより適正に行うための見直しを実施しております。

なお、上記見直しにより作成した「１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」及び「２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）」は、「Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成22年10月１日　至平成22年12月31日）」に記載しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

当第１四半期連結会計期間（自平成23年10月１日　至平成23年12月31日）

重要な資産の譲渡

平成23年11月25日開催の取締役会において、連結子会社である上海愛思必机械有限公司を解散及び清算することを決議し、当第１四半期連結会計期間において、清算に伴い発生した金額を特別損失に計上しておりますが、下記のとおり、平成24年１月５日付で締結した土地使用権・建物売買契約により、第２四半期連結会計期間以降に、固定資産売却益を計上する予定であります。

なお、現時点では清算作業中であり、上記を含めた当連結会計年度の損益に与える影響は、軽微になると見込んでおります。

（１）譲渡する相手会社の名称

上海九亭投資発展有限公司

（２）譲渡資産の種類、譲渡前の使途

譲渡資産の種類　　建物及び構築物、無形固定資産

譲渡前の使途　　生産・販売設備

（３）譲渡価額

48,000千人民元

## ４．補足情報

受注及び販売の状況

①　受注状況

| 製品別 | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成22年10月１日<br>至　平成22年12月31日） | | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年10月１日<br>至　平成23年12月31日） | | 前年同期比 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 受注高(千円) | 受注残高(千円) | 受注高(千円) | 受注残高(千円) | 受注高(%) | 受注残高(%) |
| ストレッチブロー成形機 | 2,116,576 | 3,735,472 | 2,392,329 | 4,004,660 | 113.0 | 107.2 |
| 金型 | 974,638 | 2,000,210 | 1,228,352 | 2,335,515 | 126.0 | 116.8 |
| 付属機器 | 213,174 | 401,464 | 180,564 | 417,610 | 84.7 | 104.0 |
| 部品その他 | 435,359 | 62,121 | 501,741 | 78,887 | 115.2 | 127.0 |
| 合計 | 3,739,749 | 6,199,269 | 4,302,988 | 6,836,673 | 115.1 | 110.3 |

②　販売実績

| 製品別 | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成22年10月１日<br>至　平成22年12月31日） | | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年10月１日<br>至　平成23年12月31日） | | 前年同期比(%) |
|---|---|---|---|---|---|
| | 金額(千円) | 構成比(%) | 金額(千円) | 構成比(%) | |
| ストレッチブロー成形機 | 2,664,720 | 56.1 | 1,925,831 | 52.8 | 72.3 |
| 金型 | 1,347,768 | 28.4 | 1,026,269 | 28.2 | 76.1 |
| 付属機器 | 235,750 | 5.0 | 213,769 | 5.9 | 90.7 |
| 部品その他 | 497,874 | 10.5 | 479,083 | 13.1 | 96.2 |
| 合計 | 4,746,114 | 100.0 | 3,644,953 | 100.0 | 76.8 |